（可認物便郵種三第日三十月二十年一十四治明）　（刊日）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年三月卅一日（水曜日）　第七十一號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●埃及農業銀行（一）

ドクトルオブフヒロソフヒ　佐久間秀雄

金利の高率にして資金の融通澁滯なるは殖民地一般の通則なりと云ふべし、之れが爲め折角發達すべき殖民地の産業も振はざるは甚だ遺憾なる事也、如何にせば之れが救濟の方法を立つるを得べきやとは殖民國に於て苦心しつゝある問題なるが、何分殖民地は其の事情の本國とは大に異なる處あるが故に解釋一層困難なるは今更是非もなき次第也現に[illegible]の如きにありても金利は高く資金の融通[illegible]にて商工業者は勿論農業者の融通[illegible]らざるは皆人の熟知する所也、特に未開地の開墾の如きは之れを大會社に托する又一策たる場合もある事なれども一般に小規模の農業をなさしむる便宜を設くる大なる必要あり、假令今此所に安價なる土地と安價なる勞働とあるも、第三の生産要素たる資金調達の方法を欠がば未開地開拓の事業は其の進歩極めて遲々たるを免れず。

●農業者に資金を融通する銀行制度は之れを四種に區別し得べし、第一は純然たる私立私營の銀行にて、第二は官營銀行也、第三は歐洲諸國並に我國等にある村民共同して信用組合を組織するもの、第四は私立銀行なれども政府之れに十分の保護と補助をなし同時に嚴重なる監督を加ふる制度也

●以上四種の農業銀行中第一の純然たる私立制度は之れを殖民地に實施する事極めて困難なり、其は貸出に對し十分の擔保を缺ぐのみならず、經營は困難に費用は多大なるに由る若し然らずんば資本は自然高率なる金利の行はるゝ地方に輸入せられて金利低落の端を開くべき道理也、その之れなきは私立制度の殖民地に實行して十分に資金調達の効果を生ぜざるを證するに余りありと云ふべし

●第二の官營農業銀行に就ては殖民地經營に成功したるクロマー卿の如きも反對する處なり、其の理由は（一）官吏は銀行の損益に對して利害を有せず、自然其の貸出の如きも唯法規通りの條件さへ具備すれば可なりとして放漫に流るべく、（二）假令官吏が普通の銀行家の如くビジネスライキに規則を勵行するとするもその爲め官吏は人民の怨府となるの嫌あり、故に官營農業銀行は政府に損耗を掛けざれば政府と人民の乖離せらしめ或は兩者併生せずとも限られず加之（三）官營銀行は人民をして獨立自營の志を減じ、政府に依頼せしむるの弊風を生ずるの危險あり、要するに官營銀行は殖民地の農業金融機關としては採用すべからず

●然らば第三の信用組合制度は如何と云ふに此は獨、墺、白、伊の諸國に行はれて大に功あり、歐洲に於ける農業の振興は同制度に負ふ處少からず、然れども此は進歩したる邦國には實行せらるべきも、殖民地の如き幼稚なる地方には假令之れを設立すると雖も、其の人民は概して云へは智慮周到ならず、先見の明なく、自ら抑制する力も薄く組合員相互の信用も缺乏し、衆議に由りて事を決する事も出來ず、又ビジネスの能力も乏しきが故に、折角の好機關も遂に其用をなさずして弊害百出するに至らん、即ち此の制度は殖民地が同機關を運用し得る時期に達せざれば到底行ふべからざる也

●瑞光餘影（一五）

魚遊痴史

▲陛下は三日午前十一時開城を御發輦京城に向はせらるゝ申する段ともなる次第なるが深宮を出御ありてより玆に八日間往復二百餘里の行幸は酷烈なる寒天を冒し給ひ胡砂吹く滿洲の境までも御巡狩遊ばされ而も玉躬何んの恙もましまさず本日を以て無事御還幸の鳳姿を拜しまつること誠に目出度き極みなれ

今日は目出度く御還幸
玉躬に障りもあら喜ばし

▲余は次の列車即ち午後三時六分發にて開城を出立せり車中京城藝妓の粹を拔きたる姐さん株數名が金飾の御連中と何にやら喋々喃々巫山戯居りしが中には往々聞捨ならぬ痴語狂話を耳にせり余平素なれば此の處大に例の悪口を叩く筈なるもお芽出たい行幸先の事ゆゑ耳を掩ひ眼を閉て何事も只沈默々々見ざる聞ざる言はざるの猿覺悟

彼等も猿もの眞赤な恥を
掻捨する氣か汽車の旅
後ちの祟りが怖いゆゑ

▲京城南大門驛に到着せしは午後六時久し振にて家に歸り妻君のお酌にて一杯きこしめしたる心持は又格別なりし

旅で冷めたい若勞を察し
家内が温情の熱つい燗

（をはり）

文苑

春の怨

螢弦生

破れては悲となりし我性のうつけさに泣く頃ともなりぬ
歎かひの垂り葉笑まひの初花に被衣して停つ春の夕庭
魂は夢門の奇媛にあづけれきて現のかげに世を忍ぶ吾れ
事もなき吾が胸のやの擾亂に戀の靈兒は火箭して寄せ來



佐倉宗吾（四十二）

眞龍齋貞水講演

そこで名主總代が急に江戸へ出ると相成りましたから、それぢゃ支度もあるからと、銘々家へ戻る、中に宗五郎は、千葉村忠藏、勝田村重右衛門等に別れを告げまして立歸りました、歸つたのは其翌朝の事でございます、自家ぢや今れきて、彼の邊此の邊を開けまして、朝飯の支度に及んである所でしたから、妻のお美禰を初め、子供が周圍を取卷いて、御父さん戻りましたか、御父さん御歸りと云つて喜んでゐる　宗「オウ、昨夕は心配した事であらう　美「旦那樣、如何でございました　宗「漸うの事で、將門山へ集つた者は、皆な居村へ戻した　美「ハア、うれは結構な事でございました、嘸で御疲れでございませう　宗「就いては美禰や、此度私共はな、名主の内から抽籤で七十六人が總代となつて、銘々江戸へ出ることに成つたに依て、今日は是から又、皆さんに寺へ集つて貰うのぢゃ　美「左樣でございますか、御苦勞樣でございます」そこで宗五郎がズッと廻狀を出しましたに依て、銘々東勝寺へ集りました時　宗「さて今日、二百六十有余ケ村の内、七十六人と云ふ總代の方々から、お集りを願ひましたに就いては此同勢一時に、江戸へ押出して往くと云ふ事に相成りますと、直ぐに御總代の方の、目附方の眼に止つて、又どんな難儀を仕まいとも限りませぬ、そこで斯う云ふ間も早く居村に戻つて、二人三人位づゝ、皆を纏へて追々江戸へ集る事に致しませう、江戸の堀田原の御上屋敷は、淺草觀音樣に近い處でございますから、一同の動揺は、淺草觀世音の御堂に於てする事に致しませう、希ぞ皆樣、その心持で江戸表へ御出を願ひます　○「イヤ斯れや宗五どんの云はつしやる通り、御道理でございます、宜うございます　宗「就いては御駕籠訴は、七十六人幾らず出ては、却て穩かでないから、此内で幾人と云ふ事を決めませう　○「成程御道理で　宗「そこでマア、私の考へで云つて見ると、瀧澤村の六郎兵衛どん、小原村の半十郎どん、千葉村の忠藏どん、勝田村の重右衛門どん、高野村の伊兵衛どん、それから此宗五郎が宜からうと思ひます　○「宜しうございます、承知いたしました」此瀧澤村の六郎兵衛と云ふのは、今は倅六之助が改名して、六郎兵衛と成りましたのでございます、親爺の六郎兵衛は、種籾を以て上納米を仰せ付けられた時、上役人に對し、抵抗を致したるは、不埒の行であるから、蟄居隱居と云ふ事になりました、表向きは蟄居隱居と云ふ屆でございますが、其實は樂隱居でございます、併し法は法でございますから、蟄居隱居と申しても、倅六之助が後を繼で、六郎兵衛と謂て居ります、若い人でありますがなか〳〵出來る人であります此六人が愈よ御駕籠訴の時に先へ立て事を圖る殘の七十人は、六人の後へ從いて、萬事の指揮を受けると云ふ事に相成りました、何うも能わる者は能のため苦む道理で、此宗五郎の苦心と云ふものは一通りでない、一その事宗五郎が馬鹿であつたならば、此樣な苦勞は致しませぬけれども、例口だけに此苦勞をする事に成りました、人間は能と不能の間を行けと云ふ位で、能わる者は全く能に苦しむ、大勢集つて、御料理屋か何か飲んで居りましても、藝の有る者は、自分も割前を出して、自分の酒を飲んで、さうして踊つたり跳たりして居る、藝のない者は箸を持ちながら『ヨウ〳〵巧いッ』とか何とか云つてぱくついて居る、孰方がうまいんだか分からぬ其樣なやうな理窟で遂に自分が褒められて、さんざん踊り草臥れて、自分の席へ座つた時分には、自分の食物は皆な無く成つて居るやうな理由で、是れ皆な能のために苦むのでございます、萬事その通りで、綵緞の美しい鳥になると皆な籠の中へ縮込まれて、宛行扶持を食つてゐますが、燕や烏の下鳥に成りますと、何人でも捕つて籠の中へ入れる者がないから、勝手氣儘に遊ぶことが出來ます、



悲惨なる辯明

京城新報

吉原副總裁林理事の實地視察報告を聞かん

東拓會社が韓國政府持株の代りとして受取る所の驛屯土標準價格に就ては先頃より種々の報道は傳はるも結局會社が一萬千余町歩の土地に於て**百二十萬圓**の損失を招けることは某當局者の認むる所となりたり然も其辯明は**滑稽**と云ふよりも寧ろ**悲惨**と云はざるを得ず、其辯明に曰く「糯米相場一圓五十錢乃至三圓五六十錢の間を取りて一石二圓五十錢の相場とすれば其金高は二圓にして還元率の一七五を乘すれば一反歩三十五圓なり畑は田地の價に對して三分の二に値ひするものとして會社に提供したり會社も之を至當として約束したるも其當時の相場よりすれば更に間然する所なきも今日の米價は確かに四割方下落し居れば目下に於ては會社の引繼ぐべき驛屯土の價は約**百二十萬圓**を減じ居るなり相場の變動は人力を以て如何共すべからず後日或は米價の騰貴するときは會社が利益する時なるべし」云々と、嗚呼夫れ辯解も玆に至りては眞に悲惨ならずや米價の下落せる爲に引繼ぐべき驛屯土に四割の損失ありとは何たる苦しき辯解ぞや、地方に於ける土地賣買相場は昨年と本年と更に變らず、昨年の夏頃に於て一反歩十五圓にて賣買行はれたる良田は今も尚ほ十五圓にて賣買せられつゝあり、韓國の地方にては米價の昂低によりて一々猫目の如く土地相場に變化を及ぼすものに非ず、當局者は此等の賣買相場を度外視して單に米價の下落を以て土地の價格が低落せりとなすは誤謬も亦甚だしとなす、而も四割方下落せりとは之も亦誤りなり、思ふに此辯解は到底常識を有するものゝなし得るものに非ず米價の昂低は素より土地の價格に影響するは勿論なりと雖も、土地の相場は米相場の如く若かく神經過敏のものに非ず、土地相場は一々米相場に遲れて變動するが如き事なし、之れ世界何れの所に於ても然るなり而して當局者は土地賣買相場のあるにも拘らず總て收穫高によりて土地の價格標準を定めんとするが誤謬なり、故に米價下落の爲に百廿万圓を損失せり抔との滑稽に過ぎたる悲惨なる辯解をなすに至る也、土地の價格は其國情及び其地方の事情とに依りて其相場を異にするなり、何れの所にでも收穫高のみに依りて價格の標準を立てんとするは誤りなり、要するに土地の價格は其の**地方の賣買相場**を以て**標準**とするを至當となす、然るに此賣買相場を標準とせず一に收穫高のみに拘泥せるを以て十圓内外の價格よりなき土地を**三十六圓**として受取る如き**失態**を演ずるに至るなり、然れども會社は漸次に其誤れることを自覺したり、辯解の當否は措き僅に百二十万圓を損失せることを自認せるに非ずや、而して更に怪しむべきは**井上理事の辯解**なり、曰く「會社は尤も善き土地を撰擇し引繼ぎたる後之に改良を施すときは或る論者の云ふが如き杞憂を要せず」云々、**詭辯**も玆に至りて極まれり、改良を施すには**多大の費用**を要する事を知らざる可らず、而して多大の費用を費せば土地は完全となるべし、然れども之が爲に相場より**格外高き**價格を以て**驛屯土**を受取らざる可らずとの理由とはならず、斯る見易き道理を外にして改良を施せば杞憂なしとは**噴飯以上**の囈語なりとす、改良を施して土地を完全にすることゝ驛屯土の引取價格とは全然別問題なり、之を混同して辯明するが如きは所謂鬼面人を驚かすに類せずや、亦畑地の價格を水田の三分の二となせるも誤り也、概して半額と見積るを適當となす、**吉原副總裁**及び**林理事**は親しく實況を視察し來れりといふ、果して余輩の言議が誤れることを見出せしや、惟ふに地方の状況を實際に觀られたることならば必ずや余輩の言ふ所が誤りならざるを發見せられしならん、余輩は兩氏が如何に報告せらるゝやを見んと欲す、要するに會社は余輩が勸告したるが如く速に**韓國政府**に照會して**持株**驛屯土**數を減**ぜしむるか、或は更に**驛屯土を增加提供**せしむるかの二者を擇んで會社の**損失**を防がざる可らず之れ會社の當事者として將さに爲すべき當然の責務なりとす、

東京電報

▲**齋藤技師渡韓** 鳥取縣技師齋藤軍太郎は韓國へ差遣を仰付けらる (二十九日發)

▲**金口煙草輸出** 專賣局にて金口烟草若干を韓國に輸出し外國煙草と競爭の計劃あり

▲**文官加俸令改正** 本日官報を以て滿韓在勤の文官加俸令中改正の件を發布さる (以上三十日發)

外報一束

▲**英國外相辯解** 英國外相サー、グレーは英國皇帝の外國訪問に外相の隨行無かりしを非難する聲に答へて皇帝は訪問諸國に我が好意を感ぜしむるに特殊の才能を有せらる是我國家の大なる利益なり然るに若し之を機として公式なる外交事務をなさば其價値を損ずるに至る可しと言明したり

▲**獨逸内閣危機** 獨逸内政の形勢は俄然一變して物議を起し宰相ビユーロー公の聯合黨は財政改革に關して分裂しウエーデル伯は公に代つて宰相たるべしとの說あり

▲**八隻新造運動** 英國海軍問題に關する大運動は直に八隻のドレツドノート型戰艦を新造せざる可らずとの趣意を以て開始せられたり

▲**東歐問題と佛紙** 佛國巴里のマタン紙は其論說に於て英國は露國が墺太利のボスニア、ヘルツエゴヴキナ合併を承認するを欲するならんと豫想したり

▲**佛國政府信認** 佛國代議院は海軍問題に就き内閣信任の投票を爲せり

▲**株式市場靜穩** 歐洲の新株式市場は巴爾幹形勢改善せる爲大に靜穩に歸したり

▲**露國陸相更迭** 露國陸軍大臣レヂゲル氏休職となり參謀總長バリツイン氏其の後任となれり

▲**滿洲交涉問題** 外部は滿洲交涉問題を萬國仲裁裁判に附せんとの議を我が駐在公使に申込めりと云ふ

▲**列國意見一致** 墺國外相エーレンタール男と墺國駐劄英國大使とは列強より塞爾維國に勸告し同國をして墺國に與へしむべき宣言に關し意見一致せり塞爾維國が此宣言をなすは近きにあり又露國も之に同意するを確實なり佛國タン新聞は事の玆に至れるは獨逸皇帝が露國皇帝に壓迫的の書簡を送り且墺國皇帝に對して書面を以て援助を約したる結果に依るものなりとの說を掲げたるも右は捏造なり

●紳士錄出版の趣意●

韓半島の社會的狀態は今尚ほ混沌たり、社會の舊組織破壞せられて新組織將さに成らんとする時代なり、所謂破壞と建設との過渡時代なり、故に半島韓民も在留外國人も皆此過渡中を脱する能はず、從て各個人の信用程度を判別すること容易ならず、之が爲に總ての取引に於て圓滑を缺くの例決して乏しからず、弊社は玆に見る所ありて紳士錄の編纂を企てたり、然るに韓半島を調査するには多くの日子を要するを以て當面の急需に應する能はず、玆に於て先づ京城龍山に在住せる日韓清英米佛獨其他の紳士全体を擧げ豫約方法によりて出版し以て世の急需に應ぜんとす、思ふに京城龍山は目下半島の中心なり、此中心の地に在つて經營の重任に當る紳士を最初に紹介するは將さに當なりと信ず、而して掲載する紳士の部類は政治家軍人官公吏商業家工業家農業家醫師辯護士教育家宗教家新聞記者銀行會社教會寺院倶樂部組合等にして社會の各階級を網羅して漏す所なし、之を以て本書は公私の實務に缺く可らざる要書なりと信ず、庶幾くは續々豫約御申込みあらん事を切望す、

明治四十二年三月

京城新報社

雜報

●**漁業事務と理事廳** 四月一日より施行さるゝ漁業法施行細則第二條に依れば漁業に關する願書申請書其の他の書類にして農商工部大臣に差出すべきものに在りては其の漁場を管轄する地方長官を經由するを要し日本人は理事官を經由することゝなれるが農商工部は左の書類の内左記の三項に該當するものは實際の便宜上韓人と雖も理事官に差出す事を得せしむる事とし昨日の官報を以て此れに關する部分を發布せり

一、風力又は潮流に渡り擧網を水中に於て引曳して爲す漁業

二、人力に依り又は機力を應用し漁網を以て魚類を圍繞し漁船に繰上げ爲す漁業

三、一定の水面に對し資本勞力を費し魚類を集合せしむる漁業を以て經營する漁業にして農商工部大臣の免許を受けざるもの

以上は總へて許可漁業にして右列記以外の許可漁業及び免許漁業に關する書類は地方長官を經由するを要し申告漁業に就ては韓人は府尹郡守に日本人は理事官に願出で鑑札を受くるものとす

●**殿陵附屬財產** 宮内府より内部に移屬せられたる既報殿陵に屬する財產は内部の主管とし地方長官をして近々制定發布せらるべき地方財產管理規則に依り保管せしむる事に決定せり

●**大臣參與官會議** 昨日午前十時より各參與官統監府に參集參與官會議を開き午後より各大臣統監邸に參集大臣會議を開きたり

●**皇室債務と愛恤金** 一昨二十八日約二十名の韓人度支部書記官菅田勇氏宅に群集して手を合はし涙を流して歎願する處ありたるが右は明禮宮に屬する債務の愛恤金下付を停止したる爲め之等關係者は氏を訪ふて之れが下付方を歎願したるものなりと

●**地方官の審查會** 内部地方官資格審查委員會は昨日開會し深田會長以下各委員列席し郡守候補者六名に對する資格審查をなせり

●**滿鐵小荷物連絡** 鐵道院にては四月一日より左の各驛と韓國統監府鐵道を經由して南滿鐵道、安奉線各驛(安東縣及び沙河鎭を除く)等相互間に小荷物及び新聞雜誌聯絡の輸送を開始することゝなりたり

一、小荷物聯絡驛 日鐵線、奥羽線、岩越線、北越線、中央東線、東海道線、北陸線、關西線、九州線の各主要及び山陽線各驛

一、新聞雜誌聯絡驛 東海道線、北陸線、山陽線、關西線、九州線各驛

●**韓國側會議所請願** 京城韓人商業會議所にては數日前其筋へ宛て債務特免の勅令發布方上奏の請願書を提出したるが其の提出理由に曰く一昨年の軍隊解散に伴ふ結果兵丁の收入たる一ヶ年一百万圓の金額の市場に流通せざるに至りたると白銅貨の交換に際し財產家にして白銅貨を有する者は僞造白銅貨の政府に沒收せられんことを虞れ之等白銅貨の全部を以て家屋を購入したる爲め玆に資本の固定を見遂に今日の金融逼迫を來たしたるに依り現在迄に於ける尋常貸借乃至商取引の債務を特免すべき勅令の發布を請願したる次第也

●**土木主事の任命** 漢城府外十三道の中九箇所に任命せらるゝ土木事務主任の地方日本人主事は總に三名任命せられたるが殘り六名も兩三日中に任命さるゝ筈なり

●**地方警察署新築** 地方警察署の新築は昨年度の豫算に計上したるもの三十五箇所にして此の内未だ落成せざるものは本年に引續き建築中にして本年度豫算に於ては羅南北鎭南警察署分署及び地方駐在所巡査宿舍五十箇所の建築を爲す事となれりと

●**貨幣發行高週報** 第一銀行韓國總支店に於ける去る二十一日より二十七日に至る貨幣發行高左の如し

第一銀行券發行平均高	八、八九三、四〇〇圓
内 正貨準備發行額	二、九九四、三〇〇
保證準備發行額	五、八九九、一〇〇
銀行券手許有高	七一九、六一五
銀行券市場平均流通高	八、一七三、七八五
硬貨發行額三月二十七日現在	四、二四一、一九〇
内 金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同十圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	六四三、〇〇〇
同廿錢	七三七、五〇〇
同十錢	三九一、〇〇〇
白銅貨五錢	八二七、四〇〇
青銅貨壹錢	一三一、二五〇
同五厘	六一、〇四〇
金貨五圓	五〇、〇〇〇

●**咸鏡北道の牛疫** 屢々報道したる咸興の牛疫は昨年發生以來時は頗る猖獗を極め實に生じたる斃牛二千頭以上に達すべく既に永井獸醫を派し極力防疫に從事せしめつゝあり慶源郡のみにても昨年三四月頃より斃牛約六百頭に上りし由にて目下は各地共稍鎭靜に歸したるも同地方の牛疫を根底より絶滅せんとせば豚春及び間島方面より同地方に往來する牛の檢疫を爲すを要し且牛疫豫防に効果の顯著なる血清製造所を設けて同地方畜牛一般に注射せざる可らずと云ふ

●**東拓社員收入** 東拓會社社員中二千圓以上の月收あるものを擧ぐれば左の如し

俸給	手當年額	在外手當年額	合計	氏名
六、〇〇〇	五、〇〇〇	六、八〇〇	一七、八〇〇	宇佐川總裁
四、〇〇〇	三、五〇〇	四、七〇〇	一二、二〇〇	吉原副總裁
三、五〇〇	二、五〇〇	三、五〇〇	九、五〇〇	林理事
三、五〇〇	二、五〇〇	三、五〇〇	九、五〇〇	井上理事
三、五〇〇	三、〇〇〇	三、五〇〇	一〇、〇〇〇	岩佐理事
二、五〇〇	二、五〇〇	……	五、〇〇〇	嶽秘書役長
二、〇〇〇	二、〇〇〇	……	四、〇〇〇	加賀山辰四郎
一、三〇〇	一、三〇〇	……	二、六〇〇	笹岡一實
一、三〇〇	一、三〇〇	……	二、六〇〇	松田四郎
一、〇〇〇	一、〇〇〇	……	二、〇〇〇	木村英俊
一、〇〇〇	一、〇〇〇	……	二、〇〇〇	安東義喬
一、〇〇〇	一、〇〇〇	……	二、〇〇〇	谷野作治
一、〇〇〇	一、〇〇〇	……	二、〇〇〇	米山久彌

●**師範學校卒業式** 官立漢城師範學校にては昨日午前十時より卒業證書授與式を擧行したるが本科一年修業生は三十八名、同二年修業生は三十五名、速成科卒業生は三十名講習科卒業生は三十七名にして全生徒を通じ優等生は十七名なりと

●**京城文庫の昨今** 京城日本人商業會議所内にある京城文庫昨今の狀況を聞くに閲覽者は日を追ふて增加し又頭書東拓會社井上理事の紹介に依り東京寶文館始め其他二三の重なる書籍店より多くの書籍を寄贈する旨申し來れりと尚最近に至り同文庫に書籍を寄贈したる向は左の如しと云ふ

鐵道管理局、通信管理局、度支部文書課吉松憲郎、宮内府井上雅二、東京金港堂、東京三省堂、同六盟館、同光風館、同弘文館、韓國關稅局、名古屋扶桑新聞社、東京國民新聞社、東京有斐樓濟學校主川口嘉

●**京城樂友會音樂會** 京城樂友會にては愈々四月十七八の兩日當地三好町歌舞伎座に於て音樂會開催のことに決定せるが會員は目下夫々準備中にて何プログラムも不日發表する由なり

●**頭本氏の送別會** 今般渡米の途に就く統監府御用紙元ソールプレス社長頭本元貞氏に對する統監府側の送別會は來月六日(場所未定)開催すべしといふ

●**中原氏の歸國** 京城ホテル主人中原鑑臣氏は令兄の訃に接し本朝八時五十分南大門驛發にて鄕里石州へ向け出發せり

公人私人

▲向田幸藏(平安北道警察部長) 廿九日入京不知火旅館

▲依田銈次郎(石川縣事務官) 巴城館に投宿中なりし氏は二十九日釜山に向ふ

▲上林敬次郎(度支部書記官) 昨朝開城に出發

▲中村農務局長 東上中の氏は昨日東京出發明夜歸任の筈

▲原島畜產課長 同上

▲ハリソン(北京米國公使館二等書記官) 昨日當地出發大連に向へり

●近事片々

▲伊藤● 統監は今尚ほ韓國移民集注に反對しつゝありと聞く左もあるべし左もあらん

▲是れ● 片々が常に苦言する所斯くては帝國政府の命令は韓國に及ばざる事となる也

▲過日● も桂首相の答辯に統監は帝國政府の方針に從ひ云々と明に名言せるに非ずや

▲殊に● 小村外相は明に滿韓移民集注を宣言す是が行はれずば政府の威嚴何處にある

▲一統● 監の反對の爲に政府の宣言が行はれざるの奇觀あらば列國は之を何と評せん

▲片々● が統監更迭を屢々云ふ所以も全く玆にあり桂首相たるもの大々的決心を要す

▲伊公● と桂侯とは常に其政見を異にすと聞く殊に對韓政策に於て然りとすとは實乎

▲果し● て世評の如くならば早晩對韓策に就て伊桂間に衝突あるやも未だ知る可らず

▲何れ● の點に於て政見を異にするか惟ふに其根本問題に於て大に異にする所あらん

▲觀察● 使の郡守推薦は甚だ弊害ありとて其選任を内部に移すの議起れりとは事實乎

▲觀察● 使の郡守推薦は弊害あるべき事は我社の夙に警告せし所當局今漸く悟れるや

▲併し● 是を唯内部に移したるのみにて弊害を除く事能はず更に一新案を要すべし

▲一進● 會亦もや現閣總辭職の勸告をなさんとして協議しつゝありとは事實なるにや

▲之が● 爲に現閣は大に懷柔策を取りつゝありとは矢張り巷說なれども果して然りや

▲完用● も年が年中維持にのみ焦慮するよりも玆想ひ切て明渡すを以て男らしとなす

▲次官● 更迭の噂か亦もや傳はる[illegible]次官の[illegible]城と共に幕明きとなるべしとは事實にや

▲木内● 君が内部となり若林君が農商工部に入り松井君が總監となる杯の風說ある也

▲商法● 相近來何となく欝々として樂まずとの說あり朴亦然りと何ぞ風說の起る事や

▲靜か● なる如き現閣も内輪には矢張り種々のゴタゴタある種と見ゆ果して前途如何

●漁業分類説明

漁業法の規定する所は各種漁業を區分して許可漁業屆出漁業と謂ふ左に之が分類に就き説明及び例示をなすべし

第一 漁業法第二條に依る免許漁業の種類

一定の水面に漁網を土俵若くは碇等を以て敷設し又は支柱を以て置き若くは網を建設し又は竹木、石堤、土堤等を建設して[illegible]洛窄の裝置若くは魚塚を設け一定の漁期[illegible]

日本名稱 壺網、小臺網、葉臺網、貸臺網、大敷網、角網、瓢網、落網、臺網、地獄網、桝網、[illegible]、魞、簗、潟羽瀬、簀卷羽瀬、網付羽瀬等の漁[illegible]簗、駐木、掛網等の漁業

二、一定の區域内に於て捕貝、採藻又は養殖をなす漁業(第十二免許漁業)

從來の慣行若くは特別の慣習に依り一定[illegible]如し

第二種免許漁業

イ、養殖 日本名稱 鯉、鯛、鰮、鰻、鯔、鮒[illegible]

海良、加士里等の養殖業(未完)

漁業法の規定する所は各種漁業を區分して免許を受く可き漁業、許可を受くべき漁業、屆出べき漁業の三種類とし稱して免許漁業

第一 漁業法第二條に依る免許漁業の種類
一、一定の水面に漁具を建設又は敷設し一定の漁期間定置して爲す漁業（第一種免許漁業）

…の裝置若くは魚堰を設け一定の漁期間定置して爲す漁業にして之を例示せば左の如し
第一種免許漁業

鰤、鮪、鯛羽網、巻羽網、網付羽網等の漁業
韓國名稱 注乙矢、杖矢、箒網（魚帳）竹防簾、簀防簾（魚矢）石材簾（石箭）土防簾（土

從來の慣行若くは特別の經營に依り一定の水面を限定し貝類又は藻類を捕採し或は一定の水面を區劃し魚類貝類、藻類の養殖をなす漁業にして之を例示せば左の

海鼠、蛤、牡蠣、鮑、貝珠貝、鳥貝、蛸、竹蟶、汐吹蜆、蜊、海苔、海藻等の養殖業
口、韓國名稱 鯔魚、道味、長魚、鯉魚、鮒魚、鰻、海参、蛤、石花、生鰒、竹蛤、蟶

京城居留民團公文

京城居留民團告示第四號

明治四十一年度京城居留民團歳入出豫算及明治四十一年度京城居留民團特別會計漢城病院歳入出豫算左之通更正ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十二年三月三十日

京城居留民會民長代理
助役 林田茂七郎

明治四十一年度京城居留民團歳入出更正豫算表

歳出經常部

既定豫算額金 三萬四千百四十五圓二十八錢
第一欵 役所費 更正豫算額金三万三千五百四十五圓二十八錢
既定豫算額金 一萬九千三百圓
第一項 俸給 更正豫算額金 一萬八千七百圓
既定豫算額金 一千二百圓
第二目 助役給 更正豫算額金 六百圓
既定豫算額金 五千四百一圓六十錢
第五欵 土木費 更正豫算額金四千七百五十八圓六十三錢
既定豫算額金 四千三百圓
第一項 道路橋梁費 更正豫算額金 三千六百五十七圓三錢
既定豫算額金 三千圓
第一目 道路修繕費 更正豫算額金 二千五百五十七圓三錢
既定豫算額金 五百圓
第二目 橋梁修繕費 更正豫算額金 三百圓
既定豫算額金 五萬五千五百六十四圓七錢
第六欵 教育費 更正豫算額金五万三千六十四圓七錢
既定豫算額金 三萬五千二百三十三圓六十九錢
第一項 小學校費 更正豫算額金 三萬二千七百三十三圓六十九錢
既定豫算額金 二萬二千二百六十圓
第一目 俸給 更正豫算額金 二萬二百六十圓
既定豫算額金 一萬九千六百八十圓
二 教員給 更正豫算額金 一萬七千六百八十圓
既定豫算額金 九千六百九十八圓三十九錢
第三目 需用費 更正豫算額金 九千百九十八圓三十九錢
既定豫算額金 二千六百六十八圓七十九錢
三 消耗品費 更正豫算額金 二千三百六十八圓七十九錢
既定豫算額金 一千圓
七 雜費 更正豫算額金 八百圓
既定豫算額金 四千九百二圓十錢
第九欵 警備費 更正豫算額金 三千九百二圓十錢
既定豫算額金 三千九百二圓十錢
第一項 消防費 更正豫算額金 二千七百六十一圓八十錢
既定豫算額金 一千七百六十一圓八十錢
第一目 諸手當 更正豫算額金 圓八十錢
既定豫算額金 十四萬二千二百三十八圓十四錢
小計 更正豫算額金 十三萬七千四百九十五圓十七錢

●本月二十一日居留民團公文欄内第一町目（三等ノ下ヘ地ヲ加フ）清涼飲料ノ下水ヲ削ル

三等ノ七圓六十錢ハ七圓五十錢ノ誤

●本月二十二日居留民團公文欄内規則第九號中熊谷頼太郎ノ次行ニ第二條授業料及保育料ノ額ヲ定ムルコト左ノ如シ」ノ二十二字ヲ加フ

雜報

●韓皇父子の對顏

鳥井坂御用邸にて

目下御遊學中の韓國皇太子には去る二十五日鳥井坂の御用邸にて乾元節の祝賀式を行はれ夜に入りてよりは例の活動寫眞映寫に依つて十二分の興を催ふさる陪觀者は長谷川、乃木兩大將、末松男、彩原書記官始め韓國諸官人十數名なり又寫眞は特に新橋吉澤商會に御申付ありて韓國皇帝巡幸の圖七八種を映出せしめ他所ながら父子の對顏遊ばされしが尚ほ其興や盡き給ざりけん解散後更に鴨綠江結氷上進行の實况及京城、平壤等の風俗を映寫せしめられしと

●鰮飩屋の主婦（二）

▲老いて益々旺なり
▲孫のやうない男

鰮飩屋を開業した當時の媼さんは却々の策士であつた彼れは先づ**板場の長**さんといふのを摘んで見たが案ずるよりは生むが易いオットコカマセの二つ返事で早速**闇約**が成立したので媼さん頗る恐悦顔のホク／＼もので**一**にも長さん**二**にも長さん長さんでなくては夜も日も明けぬといふ仕儀で長さんが分別顔に還暦商賣は**若い女**を二三疋置くのに限ると主張すると流石の媼さんも之ればつかりはと言ひさうな**苦がい顔**で右つ左いつ兎角思案に暮れたのであるが結局長さんの主張に從ふ事として性の知れぬ**白首**共を二三人程引張り出した、處が長さんの劃策通り的然図星に當つたので家は**千客萬來**の大繁榮を極はめ三月たらずに媼さんの懐も稍々暖かくなりかけたが滿つれば欠ぐるの世の習ひ浮世はいつも月の夜に米の飯ばかりはないたとへで媼さんの家にもそろ／＼**秋風**……ではない警八風が吹いて來た、其の結果は遂々白首の**追放**となり痛い**お灸**をすゑられたので**泣顔に蜂**の媼さんは如何したものかと思案**投げ首**長さんと共にいろ／＼善後策を講じて見たれども別に面白い**名案**も出ぬので此上は寧そ**媼**さん自から陣頭に乘り出し返へり咲の**仇花**の色に有象無象共を**虜**にせんとの**珍計畫**果して當つたか當らぬかは明日の本紙を讀んだら判る（つゞく）

●死兒を抱て路頭に迷ふ

▲薄情男の後を慕ひて

昨日午前七時頃の事なり未だ人通りも少なき仁川本町四丁目の道路に於て年の頃十七八ばかりなる女が死亡せる嬰兒を抱きて潸々と泣き居るを折柄巡行中の警官が認めて何か仔細ぞあらんと仁川署に連れ歸りて取調べたる處右の女は廣島縣佐伯郡高田村小幡はつ（十八）と云ふものにて昨年三月の頃伯母と共に渡韓して木浦より七里を隔りたる永補と稱する所にて暮らす間に同地憲兵隊にて馬丁を勤め居たる丸龜生れの伴啓一（廿七）と云ふと夫婦となり前月末玉の如き男兒を分娩したる頃には既に啓一はおはつを嫌ひ居りたるものかおはつ入籍の手續をせんものと兩人にて數日前仁川に來りたるが其の際啓一は無慘にも子供はお前のものなれば勝手にすべしと嬰兒を投り突けたるまゝ何づれにか姿を隠くしたるよりおはつは其の後知人なる京町三丁目原田柳太郎を訪ひ手を分ちて夫の行衛を搜索し居る中懐に抱ける嬰兒は昨朝に至りあはれにも營養不充分のために死去したれば夫と愛兒とを一時に失ひたる悲しみの怨ち込み揚げ來りて人目をも顧みず前記の道路にて泣き居たることと判明したるがさても世には無情なる男もあるものかな

●作業中の危禍

龍山濱町二十九番地鳶職田中興藏（三十）方雇韓人某は去る廿七日午后四時頃龍山十五間道路師團兵舍炊事場建築工事に從事中俄然傍なる鐵板倒れかゝりたるため重傷を負ひ生命殆んど覺束なかるべしといふ

●狂水病にて死亡

京城本町五丁目釘本藤次郎方店員渡邊九一郎（十七）と云ふは去月中旬頃店頭にて同家の飼犬を弄び居りしが兩手を以て抱き揚げんとする際犬は突然九一郎の唇に咬み付きて放さゞるより強ひて引き外づさんとしたるに咬み付きたる部分は齒形を殘したるまゝ裂傷したり依つて直ちに高井醫院に治療を求め爾來一ヶ月間斗りにして全癒し居りたるも本月十八九日頃に到りて再び發病し病狀何となく精神病らしき點あるより直ちに前記高井醫院へ入院し加療中なりしが去る二十三日遂ひに死亡したりと云ふ

●犬に咬まる

一昨日午前十時頃本町一丁目洋服店本田來作方飼犬は折柄通行の南山町京城ホテル内的野哲四郎（三十）に咬み付き擦過傷を負はせたるも診察の結果狂犬ならざりしは幸なりき

●違警罪一束

京城櫻井町三十六番戸雇人岡山縣平民西村徳次郎（三十）は黄金町にて號笛の裝置なき自轉車を乘用して科料金三十錢に▲明治町三丁目百十二番地人力車夫熊本縣平民山田平藏（二十）は本町三丁目街路に放尿して科料金三十錢に▲本町一丁目飲食店營業神奈川縣平民野村梅次郎は許可なくして增築したるため科料金一圓に同じく大分縣平民姫野たまといふを自宅に雇入れながら成規の日限内に屆出をなさゞりしため同じく科料金一圓に處せられたり

●一昨夜の長唄會

▲空前の大盛況▲來會者場外に溢る……

第五回長唄嗜好會演奏は一昨夜巴城館に於て開催し何れも非常の出來方なりしが批評は明日の紙上に讓り茲には其盛況を記さんに當夜の來會者は三百五十余名にしてさしもに廣き場内も眞に立錐の余地なく遲走せに來會せし人々は場外に立つて聽き居たる向きもありたり多數の演奏中西湖先生作の新曲「春の源」は伊三郎師の工夫に依りて面白く節付けし當夜中の呼物なりき、されば西湖先生初め多數の勅奏任、官連も列席し居られたるを見受けたり此外三越呉服店より寄贈したる緋繻子の緞帳は頗る美事なるものにして實に錦上に花を添へたるの觀ありき兎に角會毎に其盛况を見而して如何程多數の來會者あるも何等の故障さへ起らず飽迄靜肅なるは流石は紳士淑女の會合なりせ感服の外なし因に目下來京中なる在勝山三増久米吉氏は同會の趣旨を賛し募金中へ若干の寄贈を爲したりと

●演藝

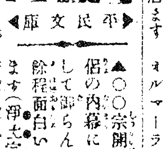
●●壽座本日の替狂言はお馴染みの「不如歸」全十二幕にして重なる役割は左の如し

川島武夫（西）山木兵藏（甲東）家令田崎（日東）川島新夫人浪子（上田）千々岩安彦 加藤夫人（池田）乳母れい〳〵（稻葉）片岡中將（三輪）

●韓語獨習

日語	韓語
羊は居りませぬか	ヤンウンオプソ
羊は我國に全く居りませぬ	ヤークン、アークターコイ、トモチオプソ
アノ、鳥は、何んですか	ク、サイカイ、ムースン、サイヨ
孔雀です	コクチャク、イヨ
朝鮮には、鶴が澤山居りますか	チョーソン、ヌインハーイ、マーニイッソ
幾何でも、居ます	オルマーラトイッソ

◀平民文庫▶



▲○○宗開教院の僧侶の内幕に御注目なして下さらんなさい、餘程面白い記事が有ます（淨土宗南海）▲私は本町四丁目の日韓貿易會社の平野樣を當選者にしたいの（本町思女）▲僕は高等小僧君の賛成を得て百萬の味方を得たる心地して誠に喜ばしい小僧君ドーゾ今後宜しく願み申します（烟酌玉）▲平民文庫が益々面白く成て來たナー（愉快子）▲南正公の分祠を南山に建てたら何うです（多仁小群）▲此の頃外を歩いて見ると御夫婦連れの散策が大分わりますれ羨ましいこと（獨身者）▲女が男の玩弄物ならば男は女の玩弄物である（小哲士）▲僕は一昨の日曜を利用して南山に逍遥を悉ましにしたが未だ些と寒い失れて與れる處がないのは閉口だ（閉口志太）▲適者が不適者の快を殺くやうなことのみするのは事實だ天然の勝景に富める南山麓に見よ彼れ等は恐く適者である（同上）▲乃木大將でさへ旭日大綬章を賜はる迄では非常な危地に立たれたものだ夫れなのに関丙奭の如きに同勳章を賜はると云ふのは感心出來ぬナこれでは勳章と云ふものはカステラの折詰めと大差はないお土產には却つて其方が實用的だ（日本人）▲御論然ることながら夫れは上御一人の思召しに出ることで臣子の論議すべきことでないお愼しみが宜しい（給仕）▲數本よし子樣に是非いま一度お目もじ致して一と言お詫申上たいと存じますがドーゾ只今の御住ひをお知らせ下さい（春川とも子）▲太、町の二葉と云ふ小料理屋は碌な肴さへ出さないで滅法外に高いとの評判だツシテ女どもが客の座敷へ出て無遠々々喰ひするには呆れて居た人があつた（一兵卒）▲近來情死沙汰の多いのは驚いた然し韓國には無い樣だが什麼原因だらう（妙痴奇林）▲烟酌玉君に告く西小門通りの古川床の下剃りは出代つて今度は客待らいの善い職人か來ました確かに貴兄の烟酌玉の破裂の好影響だと思ふです（小僧）▲昨廿九日の夜七時半頃太平町の通りを廿八九の男と四十近い丸髷姿の女とが呱つたり惚つたりトチ狂いながら歩いて居たのを見た夫婦ぢやあるまい、とすると（森夫駄郎）

●天氣豫報（自廿九日午後六時至三十日午後六時）

南の風晴

廿八日 最高温度（華氏）四三、三 最低温度 三三、三

▲無料紹介欄▼

人事部

求職 英韓語及簿記に熟達す會社官廳事務に經驗あり身元確實 新橋通一の一 沖方 伊藤睦治

裁縫、刺繡、編物、造花、摘紅工等御望みに應じ教授申候 大和町二丁目百六十八 技藝女學(一九九)

山口縣八馬川當之進氏の消息を知りたし御承知の方は當欄迄御通知被下度候 姓名在社(二〇二)

下女入用 身体強健なる者月俸金拾圓迄を給與す 姓名在社(二〇五)

店員入用 商業に經驗有る者雜貨業に從事したる人なれば猶宜し 本町五井上履物店(二〇六)

物件部

呼鈴電話讓渡したし 社内中村

貸地 旭町一丁目見晴よき地四十坪あり 京城滑國領事館通 清韓洋行

電話讓渡したし 本町一丁目 小川勝平事務所

電話譲受けたし 本町一丁目 小川勝平事務所(一九八)

工事用水揚ポンプ一臺 賃渡し及貸し付けたし 長谷川町一丁目矢橋商店(二〇〇)

本町六七丁目近方にて毎夜二時間位英語を教授なさる方なしや 姓名在社(二〇三)

大阪朝日又は東京朝日新聞昨年の小說三四郎九の〇所持者は讓與願いたし 大和町二の三八 三室(二〇四)

廣告

二葉 仁川宅支店

裁縫專門教授

明治町二丁目百三十一番戸に裁縫專門教授の家塾を來る四月一日より相開き候に付ては懇切丁寧に御教授申上べく入門御希望の方は當方に付御尋ね被下度塾則及び教授科目書等御高覽に供じ候

京城明治町二丁目百卅一番戸

裁縫專門 和洋料理 教授 野村さわ子

▲**清潔の下宿**▼

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戸横小路 (元花屋跡)

▲**懇切の下宿**▼ かめ屋



美術書畵

襖、壁、天井張

京城壽町一丁目 桂萬吉

開店五週年に付大賣出し

謹啓陳者時下陽春の候各位益々御清榮奉大賀候降て弊店儀開店以來茲に五ケ年に相當し其の間大方諸賢の御愛顧により日に月に繁榮に赴き候段難有奉謝候就ては平素の御眷顧に酬へんが爲め

三月廿五日より四月廿四日迄滿一ケ月間一割引の減價を以て販賣仕候間何卒多少に不拘御用命仰付下され度偏に奉希上候

(大) (今) (萬)

特約販賣自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大上商店

(電話二五一番)

和洋酒、〇精酎、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣 尚御望に依り商品切手調進仕候

診療開始

弊院曩きに類燒の災に罹り休業中の處這般南山町二丁目植村病院全部を讓受け三月一日より診療開始仕候

南山町二丁目 植村病院跡

松岡醫院

電話六七五番

商標 元祖 (S)

人蔘煉製飴

滋養菓子 朝鮮名産

京城大和町一丁目 鳳炮堂謹製

日本への土産としてよい菓子

發賣元

京城 龜屋商店
同 松屋商店
同 龜屋支店
同 大和軒
同 澁谷商店
同 寒水堂
仁川 穎原商會
同 龍榮堂
平壤 龜屋支店
安東縣 龜屋支店
水原 中島商店

この商標なきものはにせもの

韓國官報

市内配達 地方郵送 共

一ヶ月前金六十錢
三ヶ月前金一圓六十五錢
六ヶ年前金三圓二十五錢
一ヶ年前金六圓四十錢
(代金は必ず前金可申受候)

韓國官報新聞販賣所 京城大漢門前 盛文堂 (電話四二六番)

來ル四月一日ヨリ賣捌配達開始仕候

西洋料理 東京高輪壽し 會席料理 丼類いろ／＼ 折詰辨當 同サンドーウヰッチ

南大門停車場構内 エーテー 淵田 電話六八七番

會席御料理



本町八丁目 富士見樓

公債 貯蓄 勸業 **債券讓受**

御不用の御方は各號共精々高價申受くべく候

京城長谷川町二丁目富田屋内 電七二 齋藤

待合 花月 京城南山町一丁目病院前 電話 番

○**建築業** 中川卯之助

京城本町七丁目別府湯 電話六九一

○多年の經驗にて建築の完全を期し料金は便宜御相談可申候也

諸傘並に提灯類

印入 和洋蠟燭あり

京城明治町一丁目 大島商店

內科 外科 眼科 婦人科

富久尾病院

京城旭町一丁目

電話九百〇二番

內科 外科 小兒科

森田醫院

京城日の出町 第一小學校前

電話九一三

電話九百〇二番

●**土耳古金口莨直輸入**●

C D S

イ ン ペ リ ヤ ル

愛喫煙家諸賢

一度本品を御試用相成候得ば如何に風味に富み如何に芳香にして又健康に害無きやを知り給わん

一、本品は有名なる土の產地土耳古サモスに於て葉の粹を拔き精製したるものなれば風味の卓越なる烟草自然の香氣を保有する點は他品の遠く及ばざる所なり

二、本品の尤も誇りとする所は普通粗製品の如く身体に害を及ばさゞる點にして烟葉採收後二ケ年以上經過したる烟草を以て精製するによりニコチン量極めて少なし

三、本品は永久の御愛喫に資せんが爲め特に日本支那朝鮮に於て破格の安價を以て販賣せり 是非愛喫烟家諸彦の御試用を偏に御勸め致候 如何に口當りの好き、如何に芳香なる、如何に健康に害なきか、而して如何に經濟的なるかを知り賜はんことを

直輸入元 京城明治町一丁目(大坂屋前) シエリス商會

一手販賣特約店 京城黄金町 井出商店 電話一九〇番

東京火災保險株式會社

明治廿年創立資本金一千萬圓

日本國火災保險業の嚆矢

代辨店 山口呉服店

事務所 京城本町二の三電話九番

特約販賣店

仁川本町四丁目
仁川海岸通二丁目
釜山本町二丁目
京城本町三丁目

ライジングサン石油株式會社

韓國出張所
仁川英油組合
釜山英油組合
京城英油組合

各位愈々御繁榮大慶至極に奉存候今般弊社の出張所を當國に設け旗票と稱する最上等石油を輸入し精々廉價に販賣致し候間御試の上精々御購求の程偏に奉願候 敬白



精良石油賣出廣告

旗票石油は

光力強度鮮明なり
容器美麗堅固なり
容量充滿なり
無色透明なり
臭氣極少なり

關西スレート會社

スレート石材採掘販賣

營業賣 井上久藏

京城旭町三丁目 電話(長)三三

韓國代理店

用燃料無煙煉炭

特色 用途 炊事、暖爐、適用に適す

来ル四月一日ヨリ賣捌配達開始仕候

居留民團事務所省煉炭所東隣

谷口無煙煉炭工場

京城特約店 **巴商會** 韓國一手販賣 京城太平町二丁目

京城南大門通 電話六〇三番

統監府御用 諸官衙人力車 荷物荷造及運搬

伊藤組

營業 京城曙町(電話七三番) 本店 同本町三丁目(電話四〇番)

祠田組

京城 株式會社 第五十八銀行

電話番號五十八

資本金三百萬圓

爲替取先組

畿內 大阪、京都、西陣、見、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原、本貝塚、岸和田、堺

東海道 東京、横濱、千葉、大磯、甲府、靜岡、沼津、濱松、豐橋、名古屋、半田、熱田、龜崎、四日市、津、山田、桑名

東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、多治見、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、仙台、青森、秋田

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、七尾、富山、高岡、伏木、新潟

山陰道 鳥取、米子、境、松江、濱田

山陽道 姬路、明石、赤穗、岡山、笠岡、玉島、尾の道、三原、呉、宇品、廣島、岩國、宮市、三田尻、防府、山口、柳井、下關

南海道 和歌山、田邊、新宮、德島、撫養、高松、丸龜、今治、宇和島、高知

西海道 門司、若松、直方、飯塚、博多、福岡、久留米、若津、中津、小倉、佐伯、別府、大分、佐世保、唐津、伊萬里、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南

清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、群山、大邱、羅州、安東縣

銀行一般の業務精々便利に取扱可申候

日本郵船株式會社

仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 郡回漕店 電話三九番

●大連行(船客御斷) 新潟丸 四月 日正午時出

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 四月十一日後三時出

●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 四月廿二日正午時出

●大連、大沽、牛莊行 山東丸 四月 日前五時出

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 四月八日正午出

●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 四月七日午後

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ無料送迎可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 一ケ月金六十錢 ●廣告料

發行兼編輯人 秋山忠三郎 印刷人 高木久馬太郎

發行所 京城 京城新報社 電話六三